

令和3年度第1回尼崎市文化財保護審議会会議録要旨

1 日 時

令和3年11月9日(火) 午後2時00分～4時00分

2 場 所

尼崎市立歴史博物館3階講座室

3 出席委員

委 員	馬 田 綾 子
委 員	大 場 修
委 員	伊 達 仁 美
委 員	長 谷 洋 一

4 出席した事務局職員

教育長	白 畑 優
社会教育部長	安 田 博 之
歴史博物館長	伊 元 俊 幸
歴史博物館文化財担当係長	桃 谷 和 則
歴史博物館文化財担当学芸員	室 谷 公 一
歴史博物館文化財担当学芸員	井 上 亮

5 開 会

司会進行 伊元館長

6 挨拶

白畑教育長

7 諮 問

議事に先立ち、諮問書が白畑教育長から馬田委員長に渡された。

8 議 事 等

議事1 「令和3年度尼崎市文化財保護審議会の予定について」

- ・第2回 令和3年12月中旬予定、候補物件及び関連資料の調査、文化財保護行政について
- ・第3回 令和4年1月中旬予定、候補物件の答申について事務局から説明、了承

議事2 「令和3年度尼崎市指定文化財候補物件の審議について」

(1) 指定文化財の現状

①令和2年度尼崎市指定文化財の指定について

- ・「武庫庄遺跡出土大型掘立柱建物柱根8本」「豊臣秀吉朱印状(堀田三左衛門尉宛)1幅」について、指定経過を報告

②市内の指定・登録文化財件数

- ・国登録文化財が12件増え、計54件となったことを報告
- ・市指定文化財が53件となったことを報告

(2) 指定文化財候補物件

① 寛文十年頃尼崎城下絵図

- ・ 所有者は個人であるが、現在は尼崎市立歴史博物館に寄託されている。
- ・ 尼崎城下絵図の中では最も正確なものといわれている。
- ・ 道・海川・葭は彩色され、町ごとに色分けされて凡例が付けられているが、城郭内、武家屋敷、寺町、別所村などには彩色、書き込みはない。
- ・ 図の端に「尼崎 番町之所持」と記されていることから、町絵図として町内で持ち回りされ保存されてきたものと考えられる。
- ・ 後の時代に付された貼り紙が残っている。
- ・ 尼崎市指定文化財『尼崎城下風景図（附 尼崎城及び城下関係資料）』（指定番号16）の一つ「尼崎城下絵図」と内容が同じで、本図はその元絵とみられる。
- ・ 寛文4（1664）年に完成した築地町にのみ東西南北の距離や道の長さ、戎社（現在の初嶋大神宮）、網干し場、かつて町の南西隅に「エビス社」（西浜恵比須神社）があったことなどが記されている。
- ・ この図の特徴は、築地町が造成される以前の砂州も一緒に描き込んでいることで、この絵図の目的の一つは、築地町完成の過程を示すことであつたと思われる。
- ・ また、築地町と共に書き込みがあるのが出屋敷で、尼崎藩青山家家臣印南惣兵衛・飯尾惣太夫が奉行となり、寛文9（1669）年5月1日に区画、同月中旬から工事、同月中に完成したことが記され、一部には城下から移転した宮町住民の居住地が示されている。また、出屋敷建設に伴い閉鎖された、旧西町口門の旧地形も合わせて書き込まれている。
- ・ 城郭内に赤く描かれているいくつかの櫓は、寛文4（1664）年に新築、移築が許可された櫓であることから、城郭内の赤い施設は寛文4年以降に建てられたものを示していると見られ、城郭については寛文4年以前の図に、改修後の状況を書き加えていったものであることが分かる。
- ・ 絵図の景観年次は、寛文9～10（1669～70）年頃とすることが出来る。
- ・ 尼崎城と城下町は、築地町・出屋敷の建設と城郭の改修を以て50年の歳月をかけて完成するが、本図はそれらの形成過程を示すとともに、完成を伝える記念すべき一枚といえる。

② 元禄期尼崎城下絵図

- ・ 所有者は貴布禰神社である。
- ・ 町屋を桃色、神社を赤色、寺院を水色で色分けした横2メートルを超える大型の絵図で、現在は仮巻装に表装されている。
- ・ 元の外題箋は「尼ヶ崎城下図」
- ・ 武家屋敷には「侍」「足軽町」「小役人町」などの書き込みがされている。
- ・ 城郭内には一部の武家屋敷の書き込みしかないが、城の描写は石垣一つ一つまで丁寧に描き込まれている。ただし、天守が三層であつたり、伏見櫓が二層であつたりするほか、出屋敷の鈎型の曲がり角が斜めに描かれているなど描写の異同に独特の特徴が見られる。+

- ・ 絵図の構図と景観は、『寛文十年頃尼崎城下絵図』とほぼ同じで、同図を元にして作られたものと考えられる。
- ・ 17世紀末の元禄（1688～1700年）頃の絵図と称されてきたが、1670～80年頃の、元禄期へ向け尼崎城下町が発展していく前の様子を描いた絵図と考えられる。
- ・ 広島藩が編纂した城郭図譜である『諸国当城之図』（広島市立図書館蔵）にも本図と同系統の絵図が掲載されているほか、同系統の絵図がいくつか見られる。同様の絵図は広く出回っていたと考えられるが、本図はその原資料に近い正確な絵図で、城下町尼崎の発展拡大過程を考える上で貴重な資料といえる。
- ・ 2件を今年度の指定候補物件として、次回の第2回審議会で調査・審議をすすめていくこととなった。

9 報告等

(1) 歴史博物館開館1年間の成果について

(2) 最近の文化財保護行政について*

「ユニチカ記念館保存問題について」

10 その他

(1) 第2・3回の審議会の日程について

(2) 委員から登録文化財の住宅について質問があり回答

以上